

地域・社会とともに

1995年から本格的に始まった社会貢献活動。「全社員が年に1回はボランティアに参加する」を合言葉に、社員が自主的に参加しやすいようにボランティア担当者が案内をしています。また、地域との関わりを深めるために、ワタミグループ本社や各事業拠点が所在する地域のイベントなどにも参加させていただいています。

社員一人ひとりが行う社会貢献

ワタミグループは、社会的使命(責任)を果たすためにも、「良き企業市民」として社会とともに生きる企業を目指し、グループをあげて社会貢献活動を実践していきます。

ワタミグループは、社会貢献活動やボランティア活動とは「何かをしてあげるのではなく、何かをさせていただくことにより学び、感動し、結果として成長させていただくこと」だと考え、社員一人ひとりが、自発的・継続的に社会貢献活動を行うことを推奨しています。

活動は、「グローバル&ローカル」を基本に、地球規模的視点で捉え、かつ地域密着型で実践、推進し、「できるところからコツコツ」という考えのもと、「無理をせず、確実に継続すること」を重視しています。

「ボランティア研修」の実施

ワタミグループは、1994年度に、新入社員が地域の作業所を訪問し、ボランティア活動を行うプログラムを導入しました。以降、新入社員の「入社時研修」の一環として、毎年4月に「ボランティア研修」を実施しています。

「ボランティア研修」とは、障がい者福祉施設や児童福祉施設を訪問させていただき、ボランティアを通じて「相手の立場に立ち、相手がしてほしいことをすると、どういうことなのか」を学ばせていただくことを目的としています。

訪問した社員は、職員の方に教わり、障がいをもった方と一緒に作業を行ったり、交流を図りながら一日を過ごします。

2014年度は、37の施設に受け入れていただき、新入社員115名が参加しました。



ボランティア研修の様子

福祉施設開催のバザーへの参加

ワタミグループは、1995年度に福祉施設開催のバザーに屋台を出店して以降、継続的にバザーやお祭りに参加しています。外食事業で培ったノウハウを活かして、お好み焼き、焼きそば、焼き鳥などを販売させていただき、その売上金を福祉施設に寄附させていただいています。

2013年度は、24回、合計302名の社員が、バザーに参加しました。



福祉施設での焼きそば販売の様子

「ワタミふれあいカード」からの寄附

ワタミグループは、1996年度より、「未来の子どもたちのために」をテーマに「ワタミふれあいカード(クレジットカード)」を発行しており、ワタミグループ国内外食店舗での利用総額の1%相当を社会貢献活動を行う団体に寄附させていただいています。

2013年度は、ご利用総額309,670千円の1%相当となる3,097千円を公益財団法人 School Aid Japanに寄附させていただきました。



お食事会の開催

ワタミグループは、1999年度より、ハンディキャップがあるなど社会参加の少ない方を外食店舗にご招待し、「お食事会を通じた交流会」を開催しています。嚥下障がいのある方には、ソフト食を提供させていただいています。

この活動を通して、サービスの原点であるホスピタリティを学び、「相手の喜びを自分の喜びに変える」ことを実感できる機会をいただいています。

2013年度は、お食事会を47回行い、501名の社員がボランティアとして参加しました。



お食事会の様子

授産品代行販売

ワタミグループは、1999年度より、障がいをもった方々の社会参加の後押しを目的に、一部の外食店舗にショーケースを設置し、「授産品(※)」の販路を広げる手伝いをさせていただいています。

2013年度は、一部のワタミグループ国内外食店舗での代行販売や、株主総会でのブース販売を行うなどして、244,485円を代行販売させていただきました。

2014年度は、ワタミグループ株主総会での株主様のお土産用に、クッキーやカップケーキなどを9施設から合計2,500個を購入させていただきました。

※授産品とは：障がいのある方が、自立した生活を営めるよう、障がい者福祉施設などでは作業訓練が行われており、授産品はそうした作業訓練の一環として、障がいのある方が製作した製品。



2013年度株主総会での授産品販売の様子

「わたみ北海道自然学校」の開催

ワタミグループは、1999年度より、毎年夏季に、小学校4～6年生を対象としたふれあいイベント「わたみ北海道自然学校」を開催しています。

この学校は、「命、自然、友だち、生活習慣、夢」との出会いをテーマに、子どもたちのもつ「思いやり、誠実さ、謙虚さ、感謝の心、素直さ」など、「人間が本来もっている美しい資質」を高める「きっかけ」を提供したいとの思いで行っているイベントです。

子どもたちには、ハイキングやワタミファーム農場での野菜収穫、海洋スポーツなどを体験していただけます。また、将来の夢について考え、「夢作文」を書くことを学校の目標としており、一人ひとり、作文を発表する時間を設けています。

第16回目となる2014年度は、北海道久遠郡せたな町役場の方々のご協力のもと、せたな町にて、8月5日～8日の3泊4日で開催しました。子どもたち30名と、スタッフとして、ワタミグループ社員や自然学校の参加経験者、計15名が参加しました。



第16回わたみ北海道自然学校集合写真(ワタミファーム瀬棚農場にて)



夢作文を発表している様子

「農業インターンシップ」の開催

ワタミグループは、1999年度より、大学生を対象に「農業インターンシップ」を実施しています。農協や農家の方のご協力をいただきながら、大学生に約2週間ほど北海道に滞在していただき、農家の方の収穫補助を体験していただけます。日本の農業に対する理解の促進や、若者に「働くこと」「農業」「自然」「仲間」と向き合う機会を提供することが目的です。

2014年度は、8月から9月にかけて3回開催し、(有)当麻グリーンライフや帯広大正農協様をはじめ、28戸の農家の方々のご協力を得て、農産物の収穫や箱詰め作業などの農作業を、約50名の大学生に体験していただきました。



当麻グリーンライフでの農業体験

ワタミファームでの学生や法人の受け入れ

(有)ワタミファームは、2004年度より、有機農業への理解促進などを目的として、学生や法人の受け入れを行っています。2013年度は、瀬棚エリア、千葉北総エリア、白浜農場、東御農場、白杵農場にて、それぞれ受け入れを行いました。

□瀬棚エリア

学校法人都文館夢学園様(中学2年生)の修学旅行の一環として、「命の循環」をテーマに、播種、搾乳、と殺、乳製品の加工などを164名の中学生に体験していただきました。

□千葉北総エリア

山武農場で、ワタミグループへの就職内定者5名を受け入れました。また、お取引業者様をはじめ、約500名の方の視察を受け入れました。

□白浜農場

2012年度より、白浜小学校3年生の農業体験を受け入れていきます。2013年度は、オクラや大根の播種、除草、収穫、給食のメニュー化までを体験していただきました。

□東御農場

学校法人都文館夢学園様が行っている「夢宿舎」の一環として、自然環境や食に対する関心を高めてもらうことを目的に、中学生・高校生に、播種、収穫などの農作業を体験していただきました。

□白杵農場

地元の小学生、約60名の農業体験を受け入れ、人参の収穫を体験していただきました。収穫した人参は、白杵市学校給食センターで調理していただき、給食として提供されました。



作業前の説明(ワタミファーム白浜農場にて)



収穫の様子(ワタミファーム白杵農場にて)

「介護ボランティア」の実施

ワタミグループは、2006年度より、主にワタミフードサービス(株)の社員を対象として、ワタミの介護(株)の介護施設で行う「介護ボランティア」を行っています。「介護ボランティア」では、介護施設で行われるキャラバンイベントやアクティビティに参加したり、ご入居者様と一緒に食事をさせていただいています。

2013年度は10名の社員が参加しました。

国内・海外での取り組み

児童養護施設の子どもの受け入れ

ワタミグループは、2013年3月、NPO法人ブリッジフォースマイル様（以下、ブリッジフォースマイル様）（※1）が行う児童養護施設の中学生・高校生の子どもたちを対象としたインターン企画「ブリッジキャリア」（※2）に協力しました。中学生・高校生、計4名を受け入れ、ワタミグループ外食店舗、介護施設、本社にて3日間の職業体験を行い、実際の業務を体験していただきました。2014年8月にも職業体験を行い、5名の受け入れを行いました。

※1 ブリッジフォースマイル様は、児童養護施設に入所した子どもたちが、安心して社会に巣立ち、夢と希望を持って笑顔で暮らせる環境を作ることを目指し、活動している団体です。
 ※2 「ブリッジキャリア」とは、ブリッジフォースマイル様が、東京都事業「児童養護施設受入者などの就労支援事業」として、パナグループ様と連携して実施している活動。児童養護施設の子どもたちに、職業体験を通して、退所後の自立に向けてサポートしていくことを目的としています。

「ブックフォースマイル」の実施

ワタミグループは、2013年度、児童養護施設の子どもたちへの支援の一環として、ブリッジフォースマイル様が行う「ブックフォースマイル」（※）をワタミグループ本社にて実施しました。本社内で不要になった本の寄附を呼びかけ、合計350冊集り、6,477円分の寄附させていただきました。

※「ブックフォースマイル」とは、ブリッジフォースマイル様が行っている活動で、不要になった本を指定の買取業者様に買い取っていただき、その買取金額を児童養護施設の子どもたちの自立支援に役立てるといった取り組みです。

職業体験の受け入れ

ワタミグループは、中学校、高校の職業体験学習に積極的に協力しています。

2013年度は、地元の中学生や地方からの修学旅行生に対し、「ワタミ夢ストリート」で理念経営について紹介させていただいた他、ワタミグループ外食店舗での調理を体験していただきました。

2014年度は、地元の中学生の職業体験学習を受け入れ、外食店舗での調理、介護施設での傾聴、ワタミの宅食のお弁当のお届けを体験していただきました。また、都内の中学校や高校からの依頼を受け、ビジネスマナー研修や企業経営についての講義を行いました。

海外インターンシップ

ワタミグループは、2013年度、経済産業省が大学生を対象として行っているグローバルキャリア教育の一環である、「産学官連携課題解決型グローバルインターンシップ（※）」第2弾に協力しました。ワタミグループでは、「新しい食サービスを創造し、香港マーケットを開拓せよ」を独自のテーマに設定し、香港でのインターンシップを企画、実施しました。7名の大学生が参加し、香港にて、現地の「和民」で実際に提供することを目標に、抹茶を使用した和菓子開発に取り組みました。香港では、ワタミインターナショナルの社員が食の開発のアドバイスなどを行いました。

※「産学官連携 課題解決型グローバルインターンシップ」とは、経済産業省が、次世代の日本の産業を担う学生を育てる教育プログラムとして企画したものです。



オリジナルデザートをつくっているインターン生の様子

海外での取り組み

□ボランティア活動

海外では、和民国際有限公司（以下、ワタミインターナショナル）が主導して、積極的に社員のボランティア活動を支援しています。2013年度は、合計1,246名の社員がボランティアに参加し、お食事を通した交流会の開催、老人養護施設への訪問、海岸・公園での清掃活動を行いました。また、2013年度には、初の活動として、香港のゴミ・リサイクルセンターでボランティアを行いました。当日は香港のゴミ事情についての講義を受けたり、実際にゴミ分別作業を行いました。



ゴミ・リサイクルセンターでの仕分け作業の様子



老人養護施設への訪問

□「ワタミふれあいカード」からの寄附

ワタミグループは、国内と同様、海外でも「ワタミふれあいカード」を発行しており、ご利用金額の一部を社会貢献に使用していただいています。

和民（中国）有限公司、和民餐飲（深圳）有限公司は、香港、深圳のワタミグループ外食店舗でのご利用総額のうち0.25%相当を社会貢献活動を行う団体へ寄附させていただきます。2014年7月には、2011年度から2013年度分の寄附として、442,984香港ドルを公益財団法人 School Aid Japanに寄附させていただきました。

台湾和民餐飲股份有限公司は、2005年11月の開店当初より「ワタミふれあいカード」を導入しており、台湾のワタミグループ外食店舗でのご利用総額の1%相当を社会貢献活動を行う団体へ寄附しています。

2013年度は、小児科専門の病院へ44,407台湾ドル寄附させていただきました。



香港・深圳で発行しているカード

台湾で発行しているカード

ワタミインターナショナルは、国内と同様、公益財団法人 School Aid Japanの活動を支援しています。

地域での取り組み

地域行事への参加

ワタミグループは、本社が所在する東京都大田区羽田地区の様々な町内活動へ参加し、地域の方々と交流する機会をいただいています。2013年度は、今回で5年目となる「大田スポーツGOMI拾い大会」に参加させていただいた他、町内会主催の「大鳥居駅前清掃」に毎月継続して参加させていただきました。2014年度は、羽田地区の町内会20団体で運営する「羽田・萩中ふれあいまつり」へ参加させていただく予定です。

これからも地元へ根ざす企業として地域の皆様と交流を深めていきます。また各事業拠点においても、町内会とのつながりを大切にし、地域に密着した企業活動の展開を目指していきます。



「大田スポーツGOMI拾い大会」

「自然体験ツアー」への協力

ワタミグループは、2011年度より、青少年対策羽田地区委員会主催の「自然体験ツアー」の受け入れをさせていただいています。

2013年度は、NPO法人 Return to Forest Lifeの協力のもと、「ワタミの森」で間伐作業の見学や植樹体験を行っていただきました。また、ワタミファーム山武農場では、実際に有機野菜に触れていただきながら、「循環型農業」や「資源と命の関わり」について紹介していただきました。参加した子どもたちからは、「野菜の栄養になる土がどんな風につくられていたのかがわかった」と感想をいただきました。

子どもたちが環境や食について考えるきっかけづくりになることを目指し、今後も「自然体験ツアー」に協力させていただきます。



「資源と命の関わり」について説明をしている様子

地域清掃・美化活動への参加

ワタミグループは、各事業拠点周辺の清掃を行うことはもちろん、地域清掃を行っている団体の活動に参加させていただいています。

ワタミ手づくりマーチャングライディング（株）は、「ワタミ手づくり厨房」付近の清掃や、研修が行われる際には定期的にワタミグループ本社ビル前の清掃を行っています。

（有）ワタミファームは、除草作業や地域活動に積極的に参加させていただいています。

「エコフェスタ ワンダーランド」への参加

ワタミグループは、子どもたちが環境について考えるきっかけづくりとして大田区が毎年開催している「エコフェスタ ワンダーランド」に継続して参加させていただいています。

2013年度は、「有機おでんの試食」、「環境4択クイズ」、「ワタミの森の木で工作体験」の3つのブースを出展し、工作体験では間伐材を使用したペンダントづくりを行いました。

「社員向けSAJ・カンボジア視察ツアー」の開催

ワタミグループは、2011年度より、ワタミグループ社員を対象とした「社員向けSAJ・カンボジア視察ツアー」を開催しています。ワタミグループが支援する公益財団法人 School Aid Japan（以下、SAJ）の活動に対する理解を深めてもらい、参加した社員が自らの言葉でSAJの活動を伝えていくことにより関心の輪を広げていくことが目的です。ツアーでは、カンボジアの現状や過去の歴史に触れるとともに、SAJが運営する孤児院や農場（SAJ Farm）への訪問、SAJが建設した学校での学習や、朝食の見学を行います。

2014年度は、孤児院を卒業した子どもが現在通っている王立ブノンベン大学の語学コースの授業見学などもツアーの行程に加え、25名が参加しました。

⇒SAJについては、P52-53をご覧ください。



「王立ブノンベン大学」見学



SAJ Farmでの農場体験の様子